

差出人: morohashi-hiryo@if-n.ne.jp
送信日時: 2025年10月21日火曜日 18:25
宛先: morohashi-hiryo@if-n.ne.jp

作物の成長に CO₂ は不可欠です。
農業先進国のオランダでは、収量及び品質向上に効果的な技術として「CO₂ 施用」
が常識とされています。

※89% : 当社炭酸ガス施用効果を回答した農家のうち、「感じる」と答えた農家は 27 件中 24 件

ユーザーの声



イチゴ

全国トップクラス 銚田のイチゴが躍進する理由



イチゴ

関東初のリフト式いちご園 品質向上の秘訣

ガスのエキスパートがお届けする 炭酸ガス施用装置の決定版



1

多点計測・多系統制御を1台で

2

生ガス式・燃焼式 両方へ対応

3

クラウド連携で遠隔監視・制御

当社システムで 以下の課題が解決できます

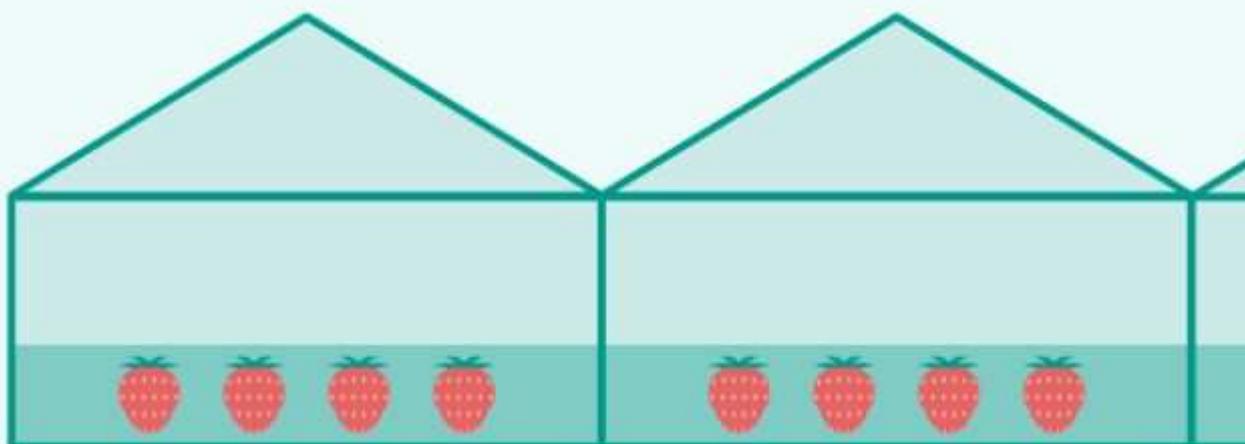
効率的に CO₂ を吸わせたい

「吸わせる」場所に局所から与えます

与えた CO₂ を作物へ吸わせることが重要です。

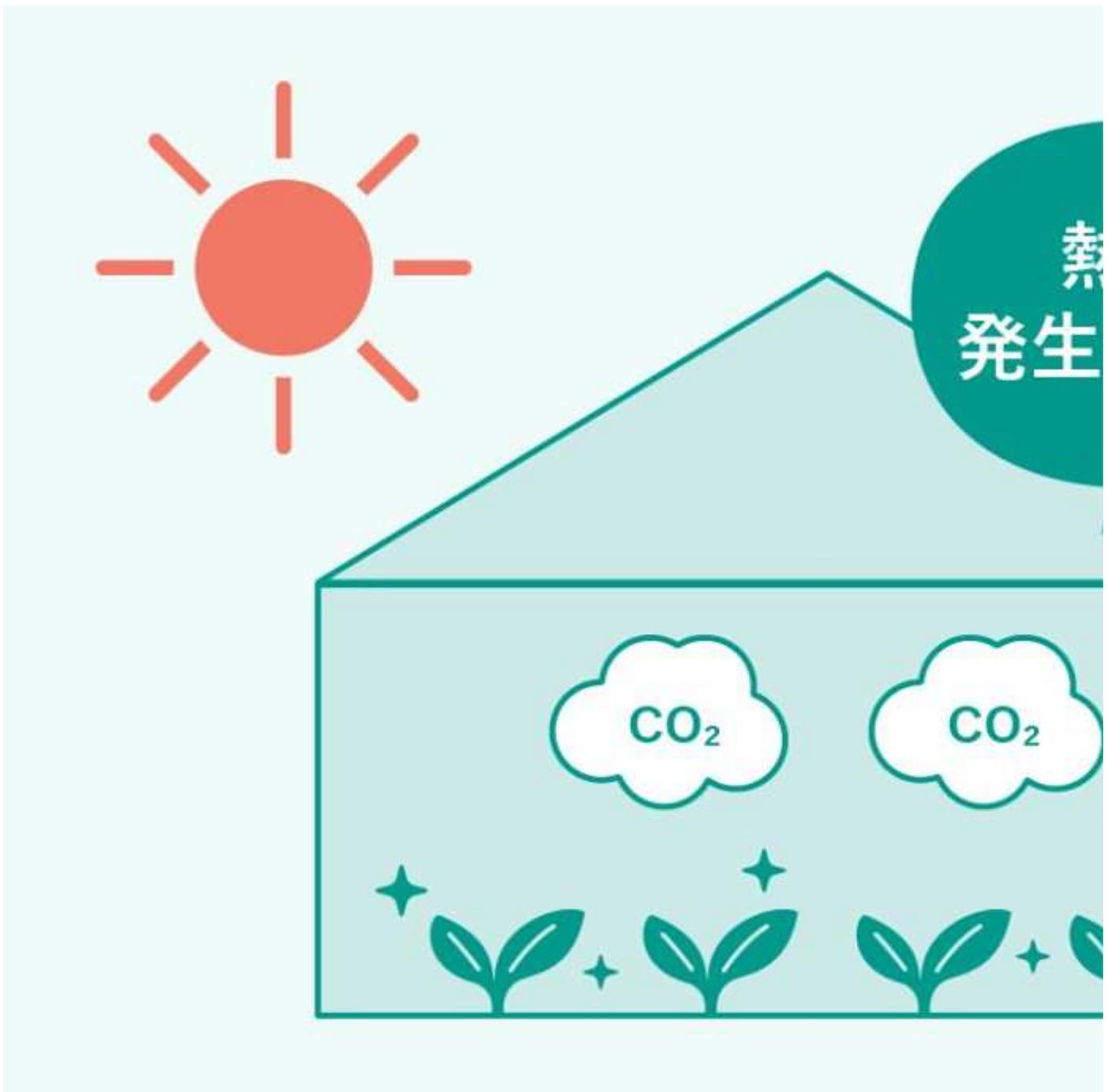
純度 99.5% 以上に精製された CO₂ を株元より施用するため、作物近傍から効果的に吸わせることができます。

10a 連棟式ハウス の場合



イチゴが利用できる CO₂ の割合
ハウス全体のわずか 2.2%

計算例. ある時点でイチゴが利用できる CO₂ 割合

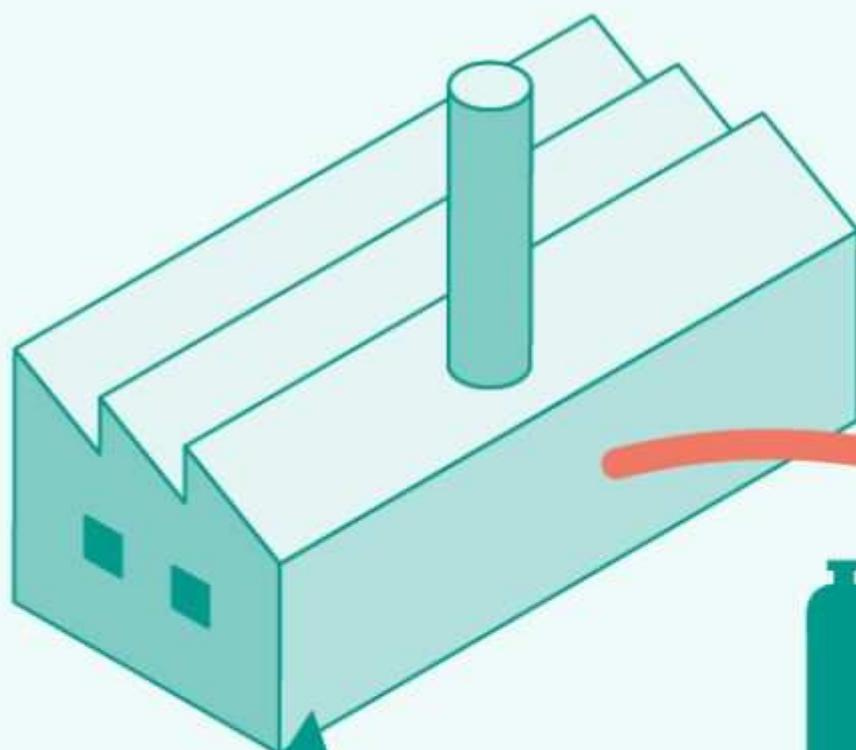


光合成が盛んなときに CO₂を与えたい 日射が強いときも狙った濃度に

施用の過程で熱が発生しないため光合成の盛んな日射が強い季節や時間帯に安定施用ができます。
また、施用の過程で作物にとって有害な NO_x や SO_x は生じません。

将来にわたって使いたい 生ガスは持続可能性の高い施用手段

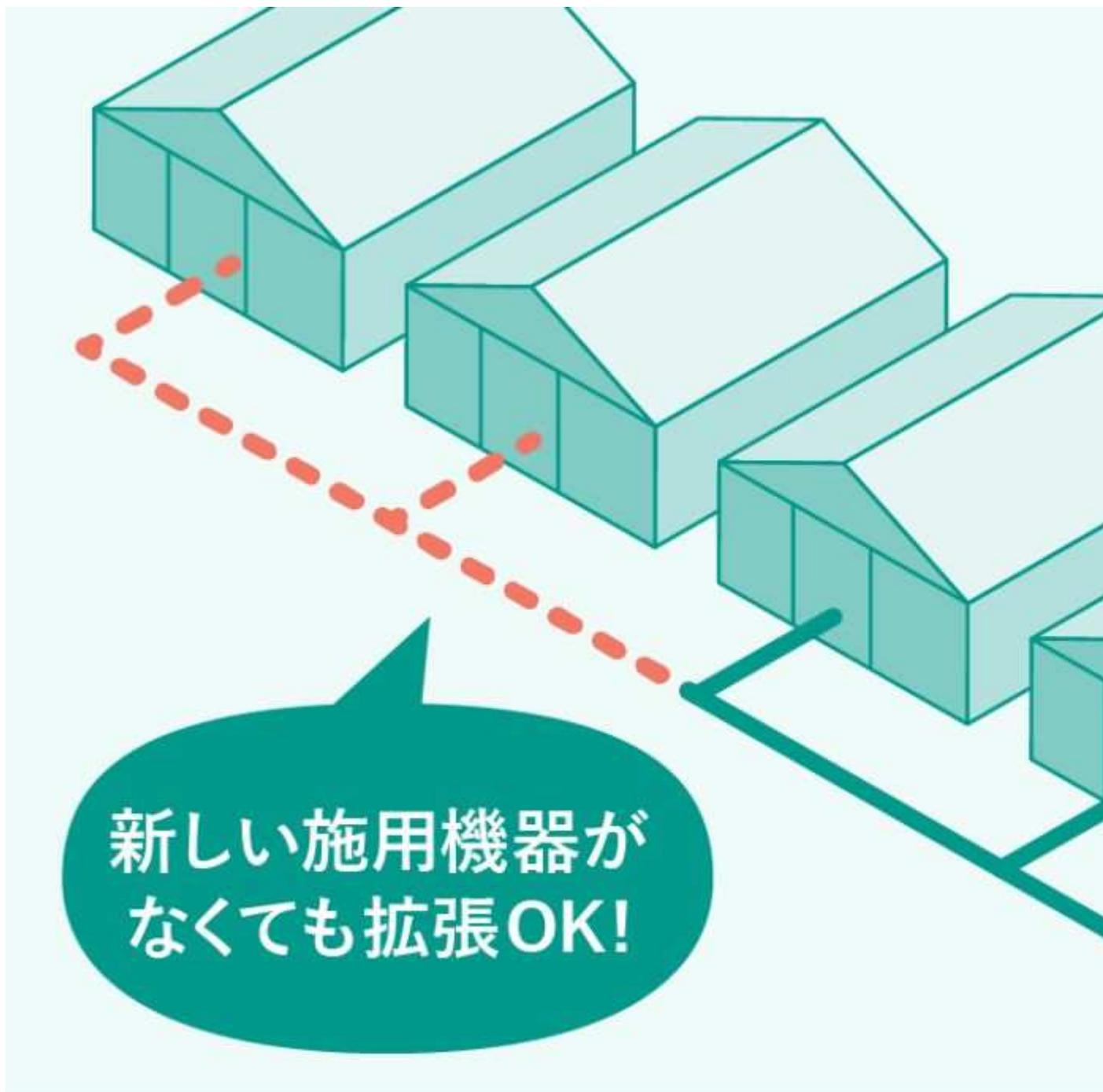
当社局所施用に利用する生ガスは、工場から分離・回収した CO₂を精製してお届けしており、施用に際して新たに化石燃料を燃焼することはありません。



精製・圧縮



工場で CO₂を
分離・回収



導入費用を抑えつつ拡張したい

チューブで拡張するシンプルな構造

単棟がたくさんあっても、チューブを伸ばして拡張できるため、機器1式で多くの棟の施用をカバーできます。

また、CO₂施用チューブは灌水チューブと同じ大きさです。